



進路・夢実現に向けて、この1問をクリアしよう!!

霧島市「今週の1問」

11 月 21 日版

学年

教科

2年

社会

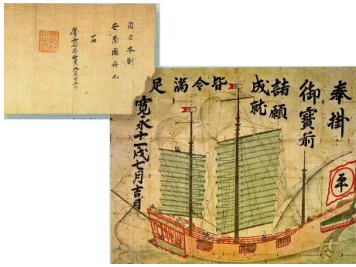
名前

学びのポイント

江戸時代初期の外交について理解しよう。

次の資料1～4を見て、下の問いに答えなさい。

(資料1) 朱印状と朱印船



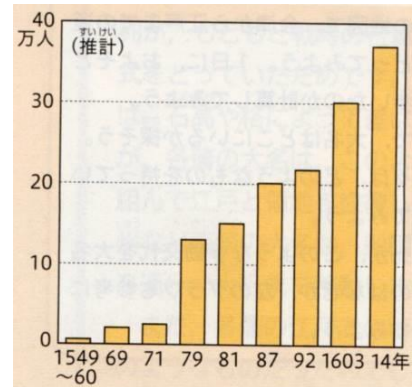
(資料2) 「鎖国」への歩み

年	できごと
1612	禁教令を出す
1624	スペイン船の来航禁止
1634	長崎に出島を築く
1637	島原・天草一揆
1639	ポルトガル船の来航禁止
1641	オランダ商館を出島に移す

(資料3) 絵踏の様子



(資料4) キリシタンの人数の移り変わり



1 資料1で示した朱印船による貿易に関して述べた文として、最も適当なものを次のア～エから一つ選べ。

- ア 小野妹子らを遣隋使として派遣した。
- イ 大名や豪商が東南アジアと貿易を行い、そこに移り住む日本人も増えた。
- ウ 瀬戸内海の航路や大輪田泊を整備し、宋とさかんに貿易をした。
- エ 明は勘合という合札を日本の船に与えて貿易を行った。

2 資料2～4を参考にして、次の文章の①・②にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。
 (①) 教徒が増えてきたので禁教令を出し、絵踏などを実施し、(①) 教を弾圧した。島原・天草一揆の後、ポルトガル船の来航を禁止し、(②) と呼ばれる状態になった。

① ②

3 江戸時代の前半、朝鮮は将軍の代がわりごとに、下の絵のような数百人からなる通信使を江戸へ派遣した。当時の人々は、使節の行列を見て、どのようなことを考えたか。「幕府」という語句を用いて、簡潔に説明せよ。



振り返り

※分かったこと、できるようになったこと、分からなかったこと、困っていること。